



9月保健だより

令和 元年8月30日発行
社会福祉法人 青梅みどり福祉会
かすみ保育園

「9月9日は救急の日」

子どもは思わぬ行動をします。一瞬の気の緩みが事故や怪我につながります。危ない物はないか部屋の中を子どもの目線で日々点検し救急時の対応も確認しましょう。

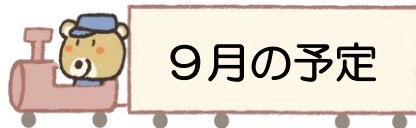
＜やけど＞氷は冷たすぎて少しの時間しか冷やしてられないので水道水で10分以上冷やしましょう。

＜窒息＞小さいものに注意しましょう。玩具の部品、なめていて破れたビニールやシールでも窒息することもあります。餅、パン、ご飯、飴、豆やぶどう、ミニトマトなども要注意です。

＜誤飲＞たばこや薬、洗剤、ライター、ポット、炊飯器、包丁などを手の届くところに置かない。

＜転落＞ベランダや窓のそばに踏み台になるものを置かない。ベットやプランターなども危険です。

病気や怪我で受診を迷う時、救急処置などは日本小児科学会のHP「子どもの救急」等を参考にしたり東京消防庁救急相談センター#7119へ相談してみましよう。



3日（火）身体測定

4日（水）乳児検診

からだに関する豆知識



スキンシップ幸せホルモン

幸せホルモンの正体は「オキシトシン」撫でる方だけでなく、撫でられる方も分泌されるのでお互い幸せな気分になって絆が深まります。子供を褒める時は、言葉だけでなく、撫でてあげることで幸せホルモンはさらに分泌されます。

笑うといいことがいっぱい

笑うことで、がん細胞をやっつけるナチュラルキラー細胞が増えて、免疫力がアップします。これは笑顔をつくるだけでも効果があり他にも、笑いにはストレスを低下させてリラックスしたり、脳の働きを活性化するなどの効果があります。

8月の報告

発症数は減少しましたが、7月に引き続き、乳児クラスより手足口病・ヘルパンギーナの発症がありました。また幼児クラスよりとびひ（伝染性膿痂疹）の報告もありました。